

6 大気環境関係データ

■ 窒素酸化物データ

6-1 二酸化窒素の環境保全目標達成状況の推移

■ 概要

平成15年度における二酸化窒素、浮遊粒子状物質、ベンゼン等の環境保全目標の達成状況等は次のとおりです。

(1) 二酸化窒素

長期的評価による環境保全目標達成率は、一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）で前年度より8.1ポイント上回り100%、自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）で16.7ポイント上回り78.9%でした。一般局全局で環境保全目標を達成したのは、大阪府内では初めてのことです。なお、濃度の推移については横ばいまたはゆるやかな減少傾向にありま

(2) 浮遊粒子状物質

長期的評価による環境保全目標達成率は、一般局で前年度より54.7ポイント上回り100%、自排局で72.7ポイント上回り100%でした。全局で環境保全目標を達成したのは、大阪府内では初めてのことです。なお、濃度の推移については減少傾向にあります。

(3) 光化学オキシダント・非メタン炭化水素

前年度に引き続き全ての測定局で環境保全目標を達成しませんでした。なお、光化学スモッグ注意報の発令回数は14回でした。

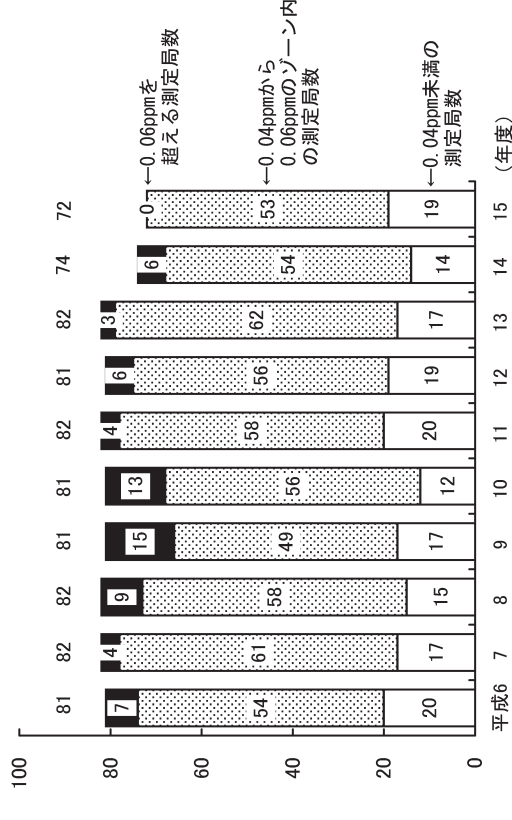
(4) 二酸化硫黄・一酸化炭素

前年度に引き続き全ての測定局で長期的評価による環境保全目標を達成しました。なお、濃度は低い水準で推移しています。

(5) ベンゼン等有害大気汚染物質

モニタリングを実施している有害大気汚染物質（19物質）のうち環境保全目標が設定されているベンゼンは、道路沿道13地点のうち8地点、一般環境14地点の全地点、固定発生源周辺4地点の全地点で環境保全目標を達成し、トリクロエチレン・テトラクロエチレン・ジクロロメタンは、22地点の全地点で環境保全目標を達成しました。

(1) 一般環境大気測定局



(2) 自動車排出ガス測定局

